授業科目	リハビリテーション医学				
担 当 者	本多知行				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	1年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

・言語聴覚療法に必要なリハ医学の基礎知識や対象疾患を理解し、臨床場面でリハアプローチを実践できるよう基礎的事項の習得を目標に講義する

■ 到 達 目 標

・言語聴覚療法に必要な医学の基礎知識とリハビリテーションの概要を理解しリハ対象患者の全体像を把握してアプローチできるような臨床的考え方ができるようになる

■ 授 業 計 画

第１回　リハビリテーション医学の歴史を知り現在の考え方を身につける
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第２回　障害とは何かを知り障害の階層性（ICIDH と ICF）とリハビリテーション医学領域を把握し評価の概念を知る
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第３回　リハビリテーション医学における障害の評価１：（意識レベル・運動障害・感覚障害・高次脳機能障害など）
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第４回　リハビリテーション医学における障害の評価２：（言語障害・知能障害・高次脳機能障害など）
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第５回　リハビリテーション医学における障害の評価３：（高次脳機能障害など）
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第６回　リハビリテーション医学における障害の評価４：（発達障害・心機能障害・呼吸機能障害・嚥下機能障害など）
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第７回　リハビリテーション医学における障害の評価５：（歩行障害・ADL 評価・QOL 評価・障害者心理・臨床検査・画像診断など）
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第８回　リハビリテーション医学におけるチーム医療と治療概念・職種内容、リスク管理などを知る
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第９回　脳損傷（脳血管障害・頭部外傷など）による障害を理解しそのリハビリテーションの概要を述べることができる
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第10回　神経筋疾患（筋萎縮性側索硬化症・パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋ジストロフィー症など）の障害を理解しそのリハビリテーションの概要を述べることができる１
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第11回　神経筋疾患（筋萎縮性側索硬化症・パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋ジストロフィー症など）の障害を理解しそのリハビリテーションの概要を述べることができる２
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第12回　脊髄損傷（発症機転や麻痺の広がりなど）の障害を理解し、そのリハビリテーションの概要を述べることができる
（遠隔授業：オンデマンド配信）

第13回　小児（特に脳性麻痺）疾患・骨関節疾患（整形外科的疾患など）・切断の障害を理解し、そのリハビリテーションの概要を述べることができる
（遠隔授業：オンデマンド配信）
第14回　循環器・呼吸器疾患（心筋梗塞や慢性閉塞性肺疾患など）・認知症などの障害を理解し、そのリハビリテーションの概要を述べることができる
（遠隔授業：オンデマンド配信）
第15回　認知症の疾患や高齢者の特徴などを知りこれらの障害の理解とそのリハビリテーションの概要を述べることができる
（遠隔授業：オンデマンド配信）

■ 評価方法

レポート（３回）100％

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

レポートは宿題としますが、教科書を見ずに授業を学んでの自分なりの意見をしっかりと記載のこと。

■ 教　科　書

書　名：見て知るリハビリテーション医学
著者名：柳澤信夫監修・小松泰善編集
出版社：丸善出版

■ 参考図書

書　名：リハビリテーション医学テキスト（改定第５版）
著者名：三上真弘監修・出江紳一・加賀谷斉編集
出版社：南江堂

■ 留意事項

不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。